

• 外資という選択肢 | 製薬・治験キャリア

外資系製薬会社ランキングを 売上と年収で読み解く

日本市場の売上高で並べると、外資系製薬会社の顔ぶれと年収の実像がつかめます。



外資って響きは華やか
ですけど、どこがすごいのか
分からなくて…！



数字で顔ぶれを押さえれば、
そのモヤモヤは晴れるわ。

- ランキングは「2つの売上」で並び順が変わる

会社全体（連結売上）



武田薬品工業は約4兆5,815億円（グローバル合計）

日本市場（薬価ベース・2024年）



首位は中外製薬。外資系も数千億円規模で並ぶ

まず確認すること



日本市場の売上か、会社全体の連結売上か

どちらの数字かで、順位はまるで変わるのよ。



● 日本市場の売上上位 外資系（薬価ベース・2024年）

1 アストラゼネカ
約5,141億円

2 MSD
約4,759億円

3 ヤンセンファーマ
約3,975億円

4 ノバルティス ファーマ
約3,576億円

5 ファイザー
約2,583億円

日本市場だけで数千億円…！すごい規模なんです
ね！



- 外資の高年収は「成果連動」の裏返し

外資系



役割と成果で報酬を設計。変動報酬の割合が大きい

内資系



年功・職能を重視する制度が残り、昇給は緩やか

忘れてはいけない前提



成果が伸びなければ評価も伸びにくく、振れ幅も大きい

「外資なら誰でも高収入」ではないわ。前提を理解して比べることね。



• 外資で需要が高い3職種と入り方



MSL

KOLと科学的議論／非プロモーション



薬事（RA）

承認申請・PMDA対応の専門職



CRA

治験モニタリング／CRO・製薬で需要高



看護師→CRC、薬剤師→CRA・薬事など、異職種からのルートもある

なるほど！



• まとめ | 売上と年収の両面で見ると

- ✓ ランキングは「日本市場の売上」か「連結売上」かで並び順が変わる
- ✓ 日本市場（薬価ベース・2024年）の外資上位はアストラゼネカ・MSDなど
- ✓ 外資は成果連動で年収が高くなりやすく、需要が高いのはMSL・薬事・CRA

会社の看板より、自分の専門を一番活かせる職種から。
まずは公開データと一次情報で、外資という選択肢を集めてみましょう。

